

## 公立大学法人埼玉県立大学 令和元年度業務実績報告書の概要

～中期目標（H28～R3）の達成に向けた第2期中期計画4年目の実績～

## 1-1 自己評価結果一覧

大項目	S (年度計画を上回って実施)	A (年度計画を十分に実施)	B (年度計画を十分に実施できず)	C (年度計画を実施せず)	計	S・Aの比率
I 教育・研究等の質の向上	3	77	0	0	80	100.0%
1 教育	1	30			31	100.0%
2 学生支援	2	28			30	100.0%
3 研究		10			10	100.0%
4 地域貢献産学連携		9			9	100.0%
II 業務運営の改善・効率化		9			9	100.0%
III 財務内容の改善	1	5			6	100.0%
IV 自己点検・評価		5			5	100.0%
V その他		11			11	100.0%
合計	4	107	0	0	111	100.0%

## 1-2 S項目の内容

I 教育・研究等の質の向上	<p>○高校訪問、大学見学の受け入れ、出張講義等の広報活動を年間180回以上行う。(◇12) →高校訪問、大学見学の受け入れ、出張講義等を204回実施した。</p> <p>○県や市町村で活躍している専門職を招き、魅力を学生に直接伝える講座等を開催する。(◇43) →新規で埼玉県の保健師・福祉職、さいたま市の保健師・福祉職等の採用説明会を行った。</p> <p>○同窓会等と連携して、創立20周年記念事業を実施する。(◇55) →記念式典、祝賀会等に多くの方が出席したほか、地元自治会との協賛事業を行った。</p>
II 財務内容の改善	<p>○設備維持管理等の契約の見直しを検討し、経費の節減に努める。(◇92) →学内で使用する電気の契約を一般競争入札に変更し、契約単価を縮減した。</p>

## 2-1 中期目標4つの目標の達成状況

指標	進路決定率100%	県内就職率60%	科研費採択65件	自主財源比率44%
実績	98.8% (未達)	49.2% (未達)	67件 (達成)	44.0% (達成)

## 2-2 今後の取組

<p>進路決定率については、学生担任教員等による個別面接や国家試験対策など、きめ細かな支援を継続するとともに、新たに開設したキャリアセンターにおいて、就職支援体制を一層強化していく。</p> <p>県内就職率については、県内病院等とのマッチングを図る取組を充実させるとともに、面接対策などの就職支援講座やキャリア相談体制を強化する。</p> <p>科研費の採択件数については、今後も、学内研究者の相談・支援を強化することにより、獲得件数の維持や研究レベルの向上を図る。</p> <p>自主財源比率についても、国、民間団体等の外部資金（補助金等）獲得の取組をさらに強化していく。</p>
--

## 3 令和元年度の主な取組

## I 大学の教育研究等の質の向上に関する取組

## 1 教育

- 高等教育開発センターを設置し、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)等に基づく、大学全体のアセスメント・ポリシー(学修成果評価方針)の策定を行った。
- 国の大学入試改革を踏まえ、本学入学者選抜試験の評価基準等の見直しを行った。

## 2 学生への支援

- 学年を越えた学生間の交流を図るため、各学科・専攻による学年間交流を実施した。
- 高等教育無償化制度の開始に合わせ、学生への経済支援制度の再構築を行った。
- キャリアセンターを開所し、キャリアカウンセラーによるキャリア相談を拡充した。
- 創立20周年記念事業に合わせ全学ホームカミングデーを実施した。

## 3 研究

- 研究開発センタープロジェクトを進め、活動内容を冊子やホームページで発信したほか、県と協働し、地域包括ケアに関わる人材の育成のための研修を開催した。
- 科学研究費の獲得に向けた支援を行い、令和2年度分について応募率94.4%を達成した
- 地域包括ケアシステム構築を推進するため、シンポジウムやセミナー、ネットワーク会議を実施した。

## 4 地域貢献、産学官連携及び国際交流

- 北本市、東京都国立市、全国健康保険協会埼玉支部、加須市及び公益財団法人いきいき埼玉と連携協定を締結した。
- 山西医科大学、チューリッヒアプライドサイエンス大学等と留学生の相互派遣を実施した。

## II 業務運営の改善及び効率化に関する取組

- 働き方改革や大学改革をテーマに、SD(職員の職能開発)研修を実施した。
- 情報収集、分析による大学運営における意思決定支援のため、IRシステムを構築した。

## III 財務内容の改善に関する取組

- 研究開発センターを中心に、国や企業との共同研究など、外部資金の獲得に取り組んだ。
- 創立20周年記念事業の寄附募集、その他自己収入の確保に積極的に取り組んだ。

※●は重点事項